

＜集約再配置の主な対象施設＞

主な公共施設	建築年(経過年)	床面積(構造)	耐震性 (○:有、×:無、△:不明)	備考
支所	昭和53年(38年)	313㎡(鉄骨造)	×	
農村環境改善センター		536㎡(鉄骨造2階)	×	
公民館	平成2年(26年)	636㎡(鉄骨造2階)	○	
保育園	昭和59年(32年)	392㎡(鉄骨造)	○	
児童センター	昭和46年(45年)	300㎡(木造)	○	
芋井体育館(社会体育館)	昭和62年(29年)	561㎡(鉄骨造2階)	○	
中学校・北校舎	昭和43年(48年)	828㎡(鉄筋C造2階)	×	
〃 南校舎	昭和53年(38年)	946㎡(鉄骨造2階)	○	
〃 体育館	昭和46年(45年)	552㎡(鉄骨造2階)	○	
小学校・校舎	昭和52年(39年)	1,708㎡(鉄骨造3階)	○	H25 耐震化
〃 特別教室棟	平成3年(25年)	1,230㎡(鉄骨造2階)	○	
第一分校・校舎	平成8年(20年)	964㎡(木造2階)	○	
〃 体育館	昭和60年(31年)	421㎡(鉄骨造)	○	
消防分団詰所	平成2年(26年)	62㎡(木造)	○	基礎に傷み
教職員住宅(校長用住宅)	昭和49年(42年)	93㎡(コンクリートB造2階)	△	解体予定



教育文化ゾーン(旧中学校・現小学校敷地)に集約再配置する施設(案)

現在	集約再配置(案)
芋井小学校	芋井小学校(現在のまま)
旧芋井中学校	芋井児童センター(教育文化ゾーン内で再配置)
	芋井保育園(旧中学校南校舎活用)
	【新】かがやきひろば(〃)
	【新】歴史文化資料施設(〃)
	スポーツ及び集会施設(旧中学校体育館)

※ 旧中学校建物を、リノベーション活用。旧中学校北校舎は耐震性に問題があるため解体し、更地化により駐車場として活用する。【新】とは、旧中学校の空き部屋を有効活用して設置する施設。「かがやきひろば」とは高齢者が集まり健康教室や交流を深め活動する施設。

行政サービスゾーン

現在	集約再配置(案)
芋井支所	芋井支所
住民自治協議会	住民自治協議会
農村環境改善センター	芋井公民館
	消防芋井分団詰所

**教育文化ゾーンのイメージ**

旧芋井中学校南校舎を複合施設にリノベーション化

かがやきひろば (新規) | 歴史文化資料施設 (新規) | 機能移転 | 保育園 (機能移転)

- 支所仮移転前に旧中学校北校舎は解体し駐車場
- 集約する既存施設は廃止
- 旧中学校体育館はスポーツや集会に活用

児童センターは教育文化ゾーン内で再配置  
 小学校は現在のまま、教職員住宅は廃止  
 芋井体育館(社会体育館)は廃止

**行政サービスゾーンのイメージ**

芋井支所を現地で建替え

芋井支所・住自協 (合築) | 公民館 | 消防団詰所

- 農村環境改善センターは廃止
- 集約する既存施設は廃止

建替え中、支所は旧中学校南校舎に仮移転

**公共施設集約再配置の主な効果**

＜地域＞

- ゾーン設定により住民に分り易いまちづくりの実現
- 公共施設のワンストップ化の実現
- まちの賑わい等の集約化につながる

＜行政＞

- 公共施設維持管理等の負担軽減が図れる  
(施設集約後、床面積ベースにて約30%の公共施設の削減)  
※ 集約前:約9,500㎡、集約後:約6,800㎡
- 施設維持管理がやり易くなる  
(集約前、10箇所 ⇒ 集約後、3箇所)

**行政サービスゾーンのイメージ**

芋井支所を現地で建替え

芋井支所・住自協 (合築) | 公民館 | 消防団詰所

- 農村環境改善センターは廃止
- 集約する既存施設は廃止

建替え中、支所は旧中学校南校舎に仮移転

